

議会 だより

こがし
古河市

第 **63** 号

令和2年6月1日

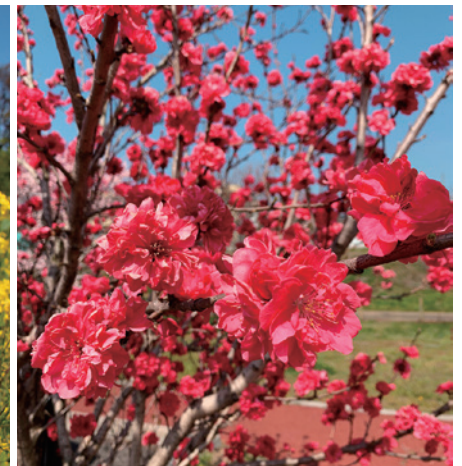
編集／議会だより編集委員会

発行／古河市議会

[ホームページ](#)

古河市議会

検索



桃まつりが中止のなかでも、きれいに咲き誇るお花たち🌸（古河公方公園）

令和2年第1回臨時会・第1回定例会開催

第1回臨時会は1月17日の会期1日間で開かれ、議案2件について審議しました。

第1回定例会は3月3日から3月19日までの17日間で開かれ、報告6件、議案45件について審議しました。3月10日、11日の2日間にわたり、一般会計予算特別委員会において一般会計、3月13日の特別会計・企業会計予算特別委員会において、11特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の予算を審査しました。代表質問は3月16日に行われ、各会派の代表者が登壇し、一般質問は3月17日、18日の2日間行われ、10名の議員が登壇しました。請願1件については、5ページの請願結果のとおりとなりました。

令和2年第1回臨時会 議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第1号	令和元年度古河市一般会計補正予算（第5号）	2.1.17	原案可決
議案第2号	令和元年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	2.1.17	原案可決

令和2年第1回定例会 議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第3号	令和2年度古河市一般会計予算	2.3.19	原案可決
議案第4号	令和2年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	2.3.19	原案可決
議案第5号	令和2年度古河市国民健康保険特別会計（直診勘定）予算	2.3.19	原案可決
議案第6号	令和2年度古河市古河福祉の森診療所特別会計予算	2.3.19	原案可決
議案第7号	令和2年度古河市後期高齢者医療特別会計予算	2.3.19	原案可決
議案第8号	令和2年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	2.3.19	原案可決
議案第9号	令和2年度古河市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	2.3.19	原案可決
議案第10号	令和2年度古河市農業集落排水事業特別会計予算	2.3.19	原案可決
議案第11号	令和2年度古河市ゴルフ場事業特別会計予算	2.3.19	原案可決
議案第12号	令和2年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計予算	2.3.19	原案可決
議案第13号	令和2年度古河市公共用地先行取得特別会計予算	2.3.19	原案可決
議案第14号	令和2年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計予算	2.3.19	原案可決
議案第15号	令和2年度古河市水道事業会計予算	2.3.19	原案可決
議案第16号	令和2年度古河市下水道事業会計予算	2.3.19	原案可決
議案第17号	古河市事務分掌条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第18号	古河市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第19号	古河市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第20号	古河市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第21号	古河市議会議員報酬等条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第22号	古河市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第23号	古河市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第24号	古河市職員の給与に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第25号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	2.3.19	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第26号	古河市保育所設置条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第27号	古河都市計画事業片田南西部土地区画整理事業施行に関する条例及び古河市片田南西部土地区画整理事業特別会計条例の廃止について	2.3.19	原案可決
議案第28号	古河都市営住宅条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第29号	古河市建築基準条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第30号	古河市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第31号	古河市古河市民球場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第32号	古河市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	2.3.19	原案可決
議案第33号	市道の路線廃止について	2.3.19	原案可決
議案第34号	市道の路線認定について	2.3.19	原案可決
議案第35号	令和元年度古河市一般会計補正予算(第6号)	2.3.19	原案可決
議案第36号	令和元年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	2.3.19	原案可決
議案第37号	令和元年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)	2.3.19	原案可決
議案第38号	令和元年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第3号)	2.3.19	原案可決
議案第39号	令和元年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	2.3.19	原案可決
議案第40号	令和元年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	2.3.19	原案可決
議案第41号	令和元年度古河市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第3号)	2.3.19	原案可決
議案第42号	令和元年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	2.3.19	原案可決
議案第43号	令和元年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	2.3.19	原案可決
議案第44号	令和元年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算(第3号)	2.3.19	原案可決
議案第45号	令和元年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	2.3.19	原案可決
議案第46号	令和元年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計補正予算(第2号)	2.3.19	原案可決
議案第47号	令和元年度古河市水道事業会計補正予算(第3号)	2.3.19	原案可決
議員提出 議案第1号	古河市議会委員会条例の一部改正について	2.3.19	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党				真政会				市民ベースの会					無党派					
	鈴木隆	佐藤泉	大島信夫	鈴木務	小森谷博之	渡邊澄夫	高橋秀彰	佐藤稔	轟見久美子	渡辺松男	黒川輝男	赤坂育男	青木和夫	稲葉貴大	園部増治	落合康之	増田悟	倉持健一	阿久津佳子	長浜音一	生沼繁	小山高正	古川一美	秋庭繁
議案第3号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第4号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第7号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第8号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第9号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第10号	×			○			○		×			○			-			○			○	○	○	×
議案第11号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第12号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第14号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第15号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第16号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第18号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第21号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第23号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第25号	○			○			○		○			○			-			○			○	○	○	×
議案第30号	○			○			○		○			○			-			○			×	○	○	×
請願第7号	○			○			○		○			○			-			×			×	○	○	×

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

※欠席議員は「欠」と表示。

請願結果

番 号	件 名	提 出 者	審議結果
令和元年 請願第7号	「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・ 批准を求める意見書」の提出を求める請願	古河市「9条の会」 代表世話人 奈良 達雄 他 2名	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

予 算 特 別 委 員 会 開 催

令和2年度 一般会計、特別会計予算

総額 800 億 6640 万円に

令和2年度一般会計、11特別会計および水道事業会計、下水道事業会計予算を慎重に審査するため、正副議長を除く全議員が一般会計予算特別委員会、特別会計・企業会計予算特別委員会に分かれ、3月10日、3月11日、3月13日の3日間にわたり、各会計予算の審査を行いました。

明日の古河市を創る特別委員会が設置されました！

第1回定例会において、青木和夫議員ほか3名より「特別委員会設置を求める動議」が提出され、「明日の古河市を創る特別委員会」が設置されました。

○委員構成

委員長	青木 和夫
副委員長	渡邊 澄夫
委員	高橋 秀彰、佐藤 稔、生沼 繁 落合 康之、鈴木 隆、黒川 輝男

○設置目的 「華のある都市（まち）古河」を実現し、「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」を進めるための重点プロジェクトについて、議会として調査・研究し、早期の実現に向け、執行部への提言と市民に対して理解を求める機会をつくることで、議会として古河市勢発展に寄与する。

○調査項目

- (1) 各交流拠点の整備について
- (2) 防災・減災体制の確立について
- (3) (仮)南古河駅の設置について
- (4) 筑西幹線道路の整備について
- (5) 公共施設の再配置について
- (6) その他

令和2年度予算に対する各会派の意見

政友会

令和2年度予算は、子育て世代の負担軽減、市民の安心・安全への取り組み、働き方改革やスマート自治体推進の取り組み等、社会情勢の変化に柔軟に対応した事業の方向性を示した予算配分であり評価する。(なお、鈴木隆議員の議案第10号の採決の真意は賛成です。)

鈴木 隆	佐藤 泉
大島 信夫	鈴木 務
小森谷博之	渡邊 澄夫

古河市公明党

新年度予算では、AIを活用した総合案内システムやRPAの導入、各施策とSDGsとの紐づけ、空き家対策事業の推進、医療費助成制度の充実など、市民生活に密着した予算配分であり予算案に賛成する。(なお、渡辺議員の議案第10号の採決の真意は賛成です。)

高橋 秀彰	佐藤 稔
靄見久美子	渡辺 松男

真政会

少子高齢化社会において、人口減少に対する取り組みは喫緊の課題である。その中で、今回の予算編成は市民の安心安全と子育て支援を重要課題としていることは評価できる。合併15周年を迎える今年、華のある都市“古河”実現のために議会としても責務を果たす。

黒川 輝男	赤坂 育男
青木 和夫	稲葉 貴大
園部 増治	

市民ベースの会

新規・継続事業において常に進捗の確認やブラッシュアップ・見直しを行うこと。また、ICTの利活用と産官学民連携・協働を行い、庁舎内データのデジタル化、AI化を実施し行政運営強化とともに市民へより高質の行政サービスの提供ができる予算執行を望む。

落合 康之	増田 悟
倉持 健一	阿久津佳子
長浜 音一	生沼 繁

会派に属さない議員

令和2年度予算は過去最大級だが、子育て、教育、防犯防災重視で適正な配分だと感じている。今後、実情に合った予算執行を望む。

子育て支援、防災強化、高齢者車安全装置補助等の新事業は評価できる。教育の質向上、自立支援、地域力向上に対する施策を望む。

新年度予算では、国民健康保険税・後期高齢者医療の値上げと民営化を推し進める子育て支援等が含まれ、反対である。

小山 高正

古川 一美

秋庭 繁

代表質問

各会派の代表者が市長の施政方針に対する代表質問をしました



政友会

(質問者：鈴木 隆 議員)

市政宣言について

問 第2次古河市総合計画が目指す「華のある都市（まち）古河」を実現するため「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」を市政宣言に掲げたが、①その宣言の背景と位置づけ②宣言に込めた市長の思い③今後の取り組みについて伺う。

答（市長） ①就任後これまでは

「市民と共に未来に誇れるまちづくり」、令和2年度からは新たに市政宣言を掲げた。②活力や安心を生み出すことにより、他自治体にはない魅力がいったいの都市になると考えている。③企業誘致の促進や避難所環境の整備等による災害対策の強化など、市の魅力を高める施策を展開していく。

「スポーツのまち古河」について

問 スポーツは明るく豊かで活力に満ちた社会の形成と、心身の健全な発達に必要不可欠である。①スポーツ推進計画の基本方針②老朽化著しい古河体育館を含めたスポーツ施設の再配置計画、③スポーツのまち古河の

推進に向けた取り組みを伺う。



答（市長） ②令和3年度に古河体育館アリーナの閉鎖を予定しているが、スポーツ推進の立場からも、たとえ他の場所に分散しても機能の維持を図っていききたい。③基本理念の地域丸ごと運動場の実践を図りつつ、古河中央運動公園のスポーツ施設の拠点化および施設の機能アップ等の重点化をめざし、指定管理者制度の導入も進めたい。

答（教育長） ①スポーツで人を動かす、スポーツでまちを動かす、スポーツで心を動かすを施策の3本柱に定めている。



市民ベースの会

(質問者：落合 康之 議員)

市政運営の基本方針について

問 以下の9点について伺う。「災害に対する安心と安全」について①古河版マイタイムラインのその後②共助の強化策。「プロジェクトの推進」について③新市建設計画の内容見直しの検討。「新たな時代への対応」について④AIの実証実験の内容⑤ICT、IoTの充実について⑥SDGsの具体的な予定。市

民協働「地域みんなで古河をつくる」について⑦人的支援への取り組み。健康福祉「互いに支え合う古河をつくる」について⑧災害発生時の福祉避難所について⑨障がい者の福祉政策のスキーム。

答（市長） ①4月に配布予定の新しい洪水ハザードマップのマイタイムライン作成欄を使用し一層の普及に努めていく。②水防説明会等を活用し共助の重要性を啓発していきたい。③新市建設計画を令和12年度まで延長し、合併特例債を有効活用できるよう作業中である。④AIが市民の問い合わせに24時間、365日自動回答する総合案内サービスの実証実験を進める。⑤学校

教育分野ではタブレット等をいち早く導入し、授業で活用している。複数の自治体が共同でデータセンターを利用する自治体クラウドの導入を検討している。⑥2年度からの総合計画の第2期基本計画へのSDGsの取り入れを検討している。⑦地域の諸問題に対し相談対応等を行っている。⑧台風19号の際は指定避難所に福祉避難室を設けていた。福祉避難室の設置拡大に向け県と協議していく。⑨第6期古河市障害福祉計画等で成果目標を掲げ、到達状況を古河市障害者自立支援協議会に報告し、事業の進捗を管理していく。





古河市公明党

(質問者：高橋 秀彰 議員)

健康福祉について

問 さまざまな問題を抱える家庭への包括的な福祉サービスの提供には、幅広い相談に対応できる人材の育成や確保とともに、縦割りを超えた体制の構築が不可欠である。今後の安心社会実現への取り組みについて伺う。

答 (市長) 社会福祉士などの資格をもつ職員を相談支援包括化推進員として配置し、関係各課

や古河市社会福祉協議会等をメンバーとした会議を行い、支援が総合的に提供されるようコーディネートしていく。



生活環境について

問 空き家対策では、所有者に対し、適正管理を強く促すとともに、危険な空き家の認定等も含め、対策の強化が必要である。本市の空き家対策について伺う。

答 (市長) 4月から空き家撤去費用の2分の1、限度額を50万円として助成する市独自の制度を開始し、対象は老朽化等によ

り管理不全状態の空き家で、立ち入り調査を行い認定している。

都市基盤について

問 優良企業の誘致を図る上で、仁連工業団地の立地ポテンシャルは、企業にとって大きな魅力である。今後も市長のトップセールスを含めた積極的な取り組みが必要と考えるがどうか。

答 (市長) 引き続きトップセールスを行い、立地条件の良さをPRしながら優良企業の誘致をさらに積極的に進めていきたい。

《その他の質問》

- ・ 市政運営の基本方針について
- ・ 教育文化について
- ・ 行財政について



真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)

施政方針について

問 「華のある都市(まち)古河」とは、うわべだけの華ではなく実体が伴わないと、本当の華にはならない。県内隣接市町はもちろん、小山市、久喜市、加須市等を古河市が、古河の商圏として見ていき、古河市に人を呼び寄せるため、商業、子育て支援、防災、文化交流などを推進するための方策として、①都市(まち)に活力を持たせる

には、どんな具体的方策があるのか。②市民に安心、安全を与えるための、具体的方策があるのか。③魅力あるまちづくりをするために、具体的に何をするのか、以上3点について伺う。

答 (市長) ①新市建設計画の中に先導的プロジェクトとして、(仮)南古河駅をつくるという具体的な方策がある。駅をつくるのが目的ではなく、古河市民になっていただける方を増やすことが目的であると考えている。南古河駅の周辺地域、そして、古河市全体がさらに活力あるまちづくりを推進していくために、引き続き近隣自治体を参考に手法の検証、検討をしていきたい。②市民に安心、安全を与えるために、茨城西南地方

広域市町村圏事務組合消防本部において、適正配置計画を作成する予定になっている。広域での地域性を考慮した観点から、計画を策定していきたい。③魅力あるまちづくりをするために人材の活用、人材バンクの創設というご提案があったが、古河市においては優秀な人材の方が、市内外にもたくさんいる。そういった方が集まる機会や場所をつくり、古河のまちづくりに役立てていきたい。



第1回定例会 一般質問

10名の議員が市政を問う



青木 和夫 議員

華のある都市（まち）古河について

問 目指すものは何かについて問う。

答（市長）第2期基本計画に基づき、発展的かつ持続可能な施策を実施していきたい。

答（企画政策部長）第2次古河市総合計画基本構想において、都市の基盤をなす産業が栄え、基盤の上に文化が花開く名実兼ね備えた都市や、女性が活躍で

きるまちを目指していきたい。

防災対策について

問 災害時の安心・安全確保の上で、万全な取り組みをしているが、監視体制強化のために監視カメラ設置の考えはあるか。さらに、大雨による道路冠水の対策と今後の取り組みについて問う。

答（都市建設部長）監視カメラの設置は、費用対効果の十分な検討が必要である。また、新たに設置される雨水対策室において、計画予定の雨水対策基本計画と調整を図り、道路改修を実施していきたい。



古河駅東部土地区画整理事業について

問 完成年度までの年次計画、および文化交流施設の構想について問う。

答（市長）文化交流施設については、地域住民の皆さまと議論し、必要性を確認しながら、まちづくりを推進していきたい。

答（都市建設部長）各街区の不良土分別、造成工事を進め、使用収益エリアの拡大を推進していきたい。



阿久津 佳子 議員

賑わい創生について

問 古河駅前・周辺の再開発について、①過去の再開発事業、今後の事業計画について。②賑わい創生には市民が夢を持ち、夢が叶う、人々が生き生き集うまちづくりが必要と考えるが、今後の中長期的ビジョンについて問う。

答（市長）②駅前広場を生み出すには個人権利者の問題もある。

財政状況等を考慮し、必要な事業を見定めていきたい。

答（企画政策部長）①昭和59年に東口広場の整備、西口地区市街地再開発、魅力ある都市拠点形成や街路整備等を行った。現在、再開発事業計画はないが古河マルシェ等は継続していく。



小田原駅東口お城通り地区再開発事業

安心安全なまちづくりについて

問 危機管理体制のうち、①市長不在時の職務代理や行動指針、②新型コロナウイルス感染予防

対策や緊急情報の市民（特に高齢者）への情報発信体制（広報・SNS・紙ベース等）について問う。

答（市長）②SNS等で小中学校休校やイベント開催情報などの発信、高齢者等へは紙媒体で行政自治会回覧形式で配布した。

答（総務部長兼危機管理監）①職務代理を定める規則では副市長が代理の順位となる。市長不在時には通常業務と同様、地域防災計画などの各計画の中で副市長2名の代理順位を定め、さまざまな対応を備えている。

《その他の質問》

・ノーマライゼーションについて



長浜 音一 議員

先導的プロジェクトをより加速 化させる道筋は

問 停滞する先導的プロジェクト（仮）南古河駅、筑西幹線道路、高等教育機関誘致、各交流拠点整備の各プロジェクトについて、「より加速化とする」が、その推進体制となる組織体制、タイムスケジュールについて伺う。

答（市長） なかなか進んでいないものについてはいろいろな問題がある。しかし、緑と産業の

交流拠点等については、企業の進出によりこれまで以上に進捗率は高まってきている。周りの環境も変わってきているため、最後までしっかりとやり遂げたい。

答（企画政策部長） まちづくりに必要な事業を推進するために、まずは新市建設計画の期間延長を進め、合併特例債を有効活用できる環境を整えていく。

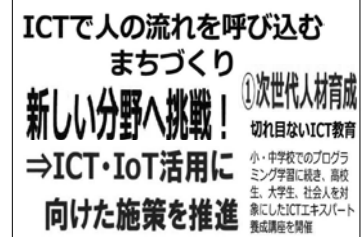
ICTの利活用、今後の導入は

問 先進自治体では、ICTの利活用を目指し、コンソーシアム[※]を設立、産官学民の連携・協働により、AIやRPA、IoT、GISを駆使した業務効率の改善や人材育成、地場産業の活性化等に一体的に取り組ん

[※]コンソーシアム…力を合わせて目的に達しようとする組織や集団。共同事業体。

でいる。古河市政としての取り組みを伺う。

答（企画政策部長） AIの導入については、令和2年度にスマートフォン等を使用したインターネットのアプリケーションで、AIが市民の皆さまの問い合わせに24時間、365日対応するシステムの導入を進めていく。RPAの導入にも業務において実証実験を進め、自動化技術の導入を検討していきたい。



先進自治体の地方総合戦略
（事例）



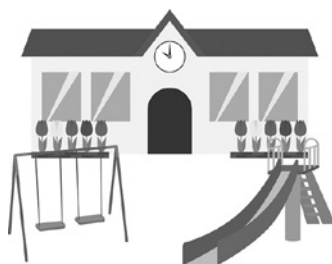
増田 悟 議員

子育て支援について

問 古河市は、3月に古河第一保育所を閉鎖し、来年には古河第五保育所を閉所予定、続いて関戸保育所も閉所する予定である。伝統ある保育所3施設が古河市から姿を消すが、これで待機児童数ゼロの公約が達成できるのか。

答（市長） 待機児童数は年々減少しているものの、ゼロには至っていない状況である。今後も民

間保育施設等への補助を行い保育士の確保に努め、官民ともに協力し合いながら、古河市全体で待機児童の解消をめざしていきたい。



タイ旅行について

問 昨年12月、秋庭議員の質問で、針谷市長はタイ旅行には私で行った。職務代理者を置かなくても、携帯電話があるため即つながると答弁されたが、本当にいつ、どこにいても連絡が

つくのか。また、携帯電話をなくしたり、電波の届かない場所にいたら職員は市長がどこにいるのか、わからないのではないのか。

答（市長） 危機管理に関するルールを古河市危機管理基本指針として定め、危機の発生に対して組織が的確に対応できるように体制を整えており、市長の不在時には副市長が決められた順序により職務を代理することになっている。

答（企画政策部長） 市長が海外渡航する場合、地方公務員の海外渡航に伴う渡航通知依頼手続事務処理要綱に基づき、海外渡航通知を県へ届ける必要があるが、県に事前確認し、届出の必要がないと回答を得ている。



倉持 健一 議員

茨城西南地方広域市町村圏事務
組合消防本部について

問 異常気象が各地にさまざまな災害をもたらしている。台風19号の影響で群馬県や栃木県に大雨が降った際、思川が危険だったと知り古河市民の意識が大きく変わった。決壊すると消防本部は水没してしまうため、三和地区に消防本部を移転したらどうか。

答（生活安全部長） 消防本部が置かれている場所は、国土交通

省が公表している最新の洪水浸水想定区域図において、利根川、渡良瀬川の氾濫があった場合、浸水の深さは5メートル以上10メートル未満と想定されている。消防本部庁舎は非木造であるが、水害の場合は浸水してしまうため、氾濫の危険性がある場合には三和分署へ退避する計画になっている。



本庁舎建設について

問 現在結城市は約50億円で5階建ての本庁舎を造っている。

答（健康福祉部長） 接種年齢やワクチンの有効性、安全性、接種後の起こり得る副反応の症状について、正しい情報を市民に提供していくことは必要である。今後、国の動向を見据えながら、広報やホームページを活用し、市民への情報提供について十分に検討する。



女性議会について

問 女性議会は、市政の取り組

また、視察した富士見市では、公共施設は1カ所に集中すると便利と聞いた。古河市中央運動公園のスポーツ施設と併設して文化施設や市役所本庁舎を建設すべきと考えるがどうか。

答（財政部長） 庁舎施設は、中核的な公共施設として、また災害発生時の拠点としての役割を果たすものである。総和庁舎は、新耐震基準の建物であるが、いずれも老朽化が進んでいる状況である。今後、庁舎の在り方の検討と並行し、施設の修繕、改修の時期、内容について検討していきたい。

《その他の質問》

・人手不足の解消について（人材派遣）



鶴見 久美子 議員

子宮頸がんについて

問 子宮頸がんの根本的な原因は、HPV感染によるもので、ワクチン接種と検診による発見、治療の併用による予防が重要視されている。HPVワクチン接種は、接種後の副作用の報告などにより、自治体は積極的勧奨を控えている。定期接種であること、ワクチン接種の有効性やリスクを対象者に対し、周知および接種勧奨することについて所見を伺う。

みや議会活動等を理解し、女性ならではの意見や要望を、市政に反映することが目的となっている。合併15周年のイベントの一つとして、新年度の開催を提案するが、所見を伺う。

答（市長） 女性の声が政策決定に寄与することは、市政への参画を拡大し、また市政に対する市民の理解向上にもつながり、意義のあることと考える。令和2年度における女性議会の開催に向け取り組んでまいりたい。

答（生活安全部長） 女性が日頃抱いている市政への疑問や意見、提案を述べ、こうしたことが政策に反映され、実施されることは、結果として住みやすく、暮らしやすいまちづくりになるものと考えている。



佐藤 稔 議員

保育士の「業務負荷軽減策」について

問 保育士の多種多様な日常業務の負担を、タブレットやスマホ等を活用し軽減することで、「保育の質の向上」を図ることができる。他自治体では「コドモン」などのICTツールを活用し、一定の効果を上げていることから、このツールの導入を提案するが市の考えを伺う。

答（健康福祉部長） ICT化は保育士の事務負担の軽減や働く

環境の改善、働き方改革へつながるものと期待でき、保育士の確保、保育の質の向上にも資すると考えている。ICTを導入している他自治体の保育施設等を参考に、前向きに検討する。

「マイタイムラインリーダー認定制度」について

問 災害時の逃げ遅れゼロを目指し「マイタイムライン」の積極的な作成は極めて重要である。「マイタイムライン」を作成するための講座の開催と、講座を担当するリーダーの養成が重要と考えるが市の考えを伺う。

答（生活安全部長） マイタイムライン普及の取り組みとして、防災出前講座等の中で、各団体の希望によりマイタイムライン

講座を6団体、147名に実施した。また、普及や推進活動ができる人材の育成を目的に、独自のマイタイムラインリーダー認定制度を設け、市内で6名が認定を受けている。認定制度を活用し、市内のリーダー養成を図るため引き続き認定講習会の周知に努めていきたい。



古河版マイタイムライン

《その他の質問》

・幼児教育無償化に伴う全国調査結果について



小山 高正 議員

環境対策におけるSDGsの実践状況と今後の見通しについて

問 ①教育分野での温暖化対策も含めた環境啓発活動はどんなことをしているのか②庁舎内ではどんな対策をしているのか③ノーマイカーデーの再開を提案するがいかがか。

答（市長） ③ノーマイカーデーは、市が先導する姿が大切であり、継続的な取り組みも重要と考えているので、実施を再開していきたい。

答（教育長） ①環境保全のための取り組みとして、ゴーヤにおける緑のカーテン、節電および節水などを行い、今後については、出前講座の計画を予定している。

答（生活安全部長） ②日常業務でのクールビズなどによる冷暖房の適正な温度設定、昼休みの消灯など実施中である。

特定空き家等の対策について

問 ①特定空き家と認められた場合の条例運用について②やむを得ず、行政代執行を行う場合の費用回収は順調に行えるのか③空き家発生抑制に、成年後見制度や財産管理委任契約等の活用を提案するがいかがか。

答（生活安全部長） ①国の空家等対策の推進に関する特別措置法第14条に基づき、当該家屋の撤去に関する助言、指導を行う。②実際には、費用を請求しても支払いをしていただけないことも想定されるので、特定空き家の認定を受ける前までの対策が必要ではないかと考えている。③国の活用可能な制度などを情報収集することで、実務の中で生かせるようにしていきたい。





古川 一美 議員

通学路の安全について

問 道幅が狭く歩道や防護柵のない通学路が数多くある。保護者や地域の方にも見守りにご協力頂いている。①令和元年度の危険箇所の数②その対策について③歩道のない通学路の路肩を全面カラー化する考えはあるか伺う。

答（生活安全部長） ③古河市通学路安全推進会議で挙げられた危険箇所や地域からの要望によ

り、現地を確認し、調査しながらグリーンベルト化に取り組んでいきたい。

答（教育部長） ①令和元年度の危険箇所数は、62カ所である。②古河市通学路安全推進会議にて対策の方針を決定し、状況確認後、対策を講じている。



路肩のカラー舗装

地域力向上について

問 急速な高齢化や人口減少のため、政府による社会保障の限

界を感じる。人生百年時代に向け、健康寿命を延ばし生涯現役人生を実現できる街づくりのために、行政と地域や家庭が協力し、それぞれの役割を果たす努力が大切だと考える。古河市が進める地域力強化推進事業をもつと市民に周知する必要があると思う。事業の①具体的活動②課題③今後の取り組みについて伺う。

答（市長） ③地域から支援の求めがあれば、できる範囲での協力を積極的に行う考えである。

答（健康福祉部長） ①サロン活動、買物やゴミ出し、外出などの生活支援がある。②地域福祉活動を知っていただき、多くの市民に参加していただけるように促していきたい。



秋庭 繁 議員

新型コロナウイルス対策について

問 ①新型コロナウイルス対策本部設置から今日までの取り組み②感染者がでた場合の医療機関等との情報共有、連絡体制③市民の命と健康を守る感染予防対策、市民および市在住の外国人への広報、啓発について伺う。

答（企画政策部長） ①組織体制、役割分担、感染予防対策、イベントへの対応方針等を決定した。国や県の状況を注視し、取り組

みを継続していきたい。③感染症予防対策、イベント開催状況等をホームページに掲載し、チラシを行政自治会を通して、回覧形式で配布した。外国人労働者には、工業会を通じ対策の周知依頼等を行った。

答（健康福祉部長） ②各医療機関と医師会を通じ情報共有を図り、古河保健所に設置された帰国者・接触者支援センターには受付時間延長の要望をしている。



新型コロナウイルス対策本部

市長のタイ旅行について

問 ①昨年タイ旅行に行った際に、知事メッセージを持ち介護専門学校等へ訪問した内容②メッセージは頼まれたのか。要求したのか。③企画、旅行費用（私費）の内訳について伺う。

答（市長） ①知事からのメッセージを3校の校長先生に渡した。②産業戦略部長と話をする機会があったため、タイに行く際の内容を話し、知事からのメッセージ等について提案した。③企画は専門学校を営んでいる現地の法人である。旅行費用の内訳は航空券代が約24万円、宿泊代が計約5万円、合計が税込みで約32万円である。

インターネットで議会会議録を検索・閲覧できます

古河市議会では「会議録検索システム」を導入しています。インターネットでいつでも自由に議会会議録の検索と閲覧ができます。

※平成17年9月以降の議会会議録を公開しています。

○平成19年6月定例会以降の議会会議録（製本したもの）は、下記施設でご覧いただけます。

- (古河地区) 古河庁舎市民総合窓口室
古河図書館、中田公民館
地域交流センター（はなももプラザ）
- (総和地区) 総和庁舎（本庁）総務課
中央公民館、ユースセンター総和、つつみ館
生涯学習センター総和（とねミドリ館）
- (三和地区) 三和庁舎市民総合窓口室
三和図書館資料館（燦SUN館）

議会の傍聴について

傍聴の際には、マスクの着用を含む咳エチケットを行っていただきますよう、お願いいたします。また、体調のすぐれない方（咳・発熱など）は、傍聴をお控えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、本会議・委員会につきましては、インターネット中継を行っておりますので、下記のQRコードよりご視聴ください。

第1回定例会の傍聴者数

本会議	36人
委員会（特別委員会）含む	2人
議場コンサート	14人
合計	52人

※傍聴者数は延べ人数

◆◆◆ 令和2年第2回定例会の会期予定 ◆◆◆

今定例会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、3密を避けるため、日程を4日間で開催します。

月日	会議	内容
6月9日（火）	本会議	開会、議案の説明、質疑、議案の委員会付託
6月10日（水）	常任委員会	総務常任委員会、文教厚生常任委員会、産業建設常任委員会
6月11日（木）	本会議	一般質問
6月12日（金）	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

- 時間は午前10時からの開催予定です。
- 6月10日（水）は、総務常任委員会は午前10時、文教厚生常任委員会は午前10時15分、産業建設常任委員会は午後1時30分から開催予定です。
- ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

議会の様子を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記QRコードからご覧になれます。

古河市議会 中継 検索

QRコード



🌈🌈🌈 編集後記 🌈🌈🌈

新年度がスタートいたしました。新型コロナウイルス流行により例年とは違う卒業や入学、就職等の新生活を迎えられた方も多いのではないかと思います。

第1回定例会では新年度予算審議、各会派代表質問や一般質問を行いました。今や技術革新ICTやAIを活用した令和のまちづくり、市民の皆さまの議会への関心や期待に応えられる議会活動とともに、より親しまれる議会広報を展開してまいります。 副委員長 阿久津 佳子

【議会だより編集委員会】

- 委員長 鈴木 務
- 副委員長 阿久津佳子
- 委員 小森谷博之 稲葉 貴大
高橋 秀彰 生沼 繁

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎0280-22-5111（代）



環境にやさしい植物油インキを使用しています